

天狗岳 山行報告



【日程】 2020年3月1日(日)

【山城】 八ヶ岳連峰

【ルート】 渋ノ湯～東天狗・西天狗

【参加者】 CL岩井、SL秋本、山口👉、下牧👉(記録)

【行程】

3/1(晴れ)

千葉発(01:00) - 石川PA(02:00)※休憩 - 双葉SA(03:30)※休憩

渋ノ湯駐車場(06:15) - 登山口(06:50) - 八方台方面・渋の湯方面分岐(07:40)

渋ノ湯・唐沢鉱泉分岐(08:00) - 黒百合ヒュッテ(08:40)

黒百合ヒュッテ(09:10) - 中山峠(09:20) - 天狗の鼻(10:20) - 東天狗岳(10:45)

天狗岳(11:10) - 東天狗岳(11:30) - 天狗の奥庭(12:15) - 黒百合ヒュッテ(12:35)

渋ノ湯・唐沢鉱泉分岐(13:10) - 八方台方面・渋の湯方面分岐(13:30)

登山口(14:20)

はじめに

今月 21 日から予定の蝶ヶ岳山行に向けたトレーニングと、ピッケルを利用したことのない私のためのピッケル講習を兼ねて、I さんに天狗岳山行を企画いただきました。皆様のご協力により、私の初ピッケル山行は無事に終了しました。今後ともよろしくお願ひします。

山行報告

1:00 JR 稲毛駅に集合、穴川 IC 近くで A さんをピックアップして渋の湯駐車場に向かう。夜間出発の日帰り山行であるため、あまり疲れないように、石川 PA で小休憩、双葉 SA で大休憩、南諏訪 IC 近くのファミリーマートで仮眠をとって、6 時過ぎに渋御殿湯に到着。渋御殿湯手前まで道路に雪はほとんどなかった。

到着時点では駐車場の受付が始まっていなかったため、渋御殿湯の前に車を止めて待つ。先行車は 10 台ほどだった。

6 時 15 分くらいから受付が始まったので、受付で料金(日帰り登山の場合は 1,000 円)を払い、女将さんの指示に従い車を停める。

駐車場で準備をしてから、渋御殿湯右手奥の登山口に向かう。ちゃんとした山登りは 1 ヶ月以上振りであるため、皆さんについて行けるのか若干不安になる。

登山口で記念撮影をして、まずは黒百合ヒュッテに向かう。

登山道に雪はしっかりあるが、まずはつぼ足で歩を進め、八方台方面・渋の湯方面分岐の手前でアイゼンをつける。そこから 1 時間ほどで黒百合ヒュッテに到着。

当初予報に反して天気は快晴で日差しは春そのもの。ヒュッテ玄関の温度計は 8 度を指していた。



登山口で記念撮影



黒百合ヒュッテ

日帰りで時間がないため、休憩もそこそこにピッケルを装備して東天狗に向かう。ピッケルを持っただけで気分は上級者だったが、実際は初級者なので、ピッケルの持ち方やピッケルワークをYさんに教えてもらいながら、東天狗を目指す。見晴台を越えたあたりからは、岩が露出しているため、アイゼンを引っかけないように慎重に登り、東天狗岳に到着。山頂から望む雪の赤岳、阿弥陀岳の姿は壮観だった。



赤岳と阿弥陀岳



東天狗で記念撮影

天狗岳は雪山初心者向けの山であるためか、東天狗山頂には登山者がたくさんおり、ゆっくり出来るような感じではなかったため、記念撮影後すぐに西天狗を目指す。

西天狗山頂手前の急登はとてもきつかったが、東天狗から20分ほどで到着。晴れてはいるが、霞がかっており遠望がきかなかつたため、Iさんの地図を使って山頂から見える八ヶ岳山々の名前を確認する。山の名前がわかるアプリを使ってみたが、画面上にある遠くの山名も画面に表示されてしまうので、地図とコンパスが一番と感じた。



東天狗から西天狗を望む



西天狗で記念撮影

西天狗で小休憩をとった後、天狗の奥庭を経由して黒百合ヒュッテに向かう。黒百合ヒュッテ前では、IさんとYさんにピッケルを使った滑落停止技術を教えてもらう。（しっかり復習します。Iさん、Yさんありがとうございました。）

黒百合ヒュッテでトイレ休憩を済ませた後、渋の湯に向かう。途中、八方台方面・渋の湯方面分岐でYさん指導の下、ビーコン訓練を行う。Yさんが埋めたビーコンを、各自のビーコンを受信モードにして探し、ビーコンで探索したおおよその箇所にゾンデ棒を刺して、そこからV字型に掘り進めるといったもの。ビーコンの精度の高さに驚いたが、ゾンデ棒を刺して人の感触がわかるか？といったら自信がない。来期は機会があれば連盟の訓練を受けてみようと思う。（Yさん、ありがとうございました）



ビーコン訓練後、30分ほどで渋ノ湯駐車場に到着。時間の都合で温泉には入らず、八ヶ岳PAでご飯を食べて帰葉となった。

記録：下牧